

## 全国農政連推薦・県農政連公認 参議院議員藤木しんやの

### 永田町でも 百姓宣言

#### 農家の声を国政に届けます

今、列島に自然災害が猛威をふるっています。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。私も熊本地震の被災者の一人として、迅速な復旧・復興はもとより、被災者の方の実情に寄り添う柔軟な対応を関係機関に訴えています。

特に、一般の台風被害では、北海道と岩手県を中心に大変な被害が発生しており、現在、関係省庁による被害状況の確かな把握と情報共有につとめているところです。農水省には、山本大臣を本部長とする緊急自然災害対策本部が立ち上がり、党内にも「平成28年台風農林水産業災害対策ワーキングチーム」が発足しました。北海道・東北を選挙区とする議員がメンバーとなつていますが、全国比例区の議員として私も災害対策の検討に参画しています。必要となる対策を早急にとりまとめ、早期復旧に全力で取り組むとともに、9月末に招集される臨時国会の予算審議などに反映してまいります。

さて、先般、平成28年度農林関係第2次補正予算案が閣議決定されました。政府全体の歳出規模は4.1兆円となり前年から17.5パーセントの伸び率となりました。こうしたなか、農林水産関係は、5739億円となり、43.2パーセントと大幅な伸びとなりました。体質強化に重点が置かれ、「産地パワーアップ事業」や「畜産クラスター事業」で昨年度より増額を確保し

ました。また、全国を歩いて多く耳にするのが中山間地域の対策です。これには、所得向上を総合的に後押しするための事業費として300億円を措置しています。その他、農業農村基盤整備、農林水産業の輸出力の強化、飼料用米の生産拡大に対応する予算措置をしています。

私も農業者のひとりですから、こうした施策が農林水産業の現場に届くよう、理解しやすく活用しやすい柔軟な運用を引き続き求めていきます。

この秋の臨時国会、農政の焦点はTPPだと思えます。先の通常国会で政府が提出したTPP承認案と関連法案が持ち越しとなっております。当初9月中旬で想定されていた召集日は、民進党の代表選挙などに配慮する形で9月26日となる見通しです。召集の遅れは、国会審議にも影響するわけですが、農業者をはじめ国民の不安は依然として根深いものがありますので、あらゆる機会に私も国政の場で訴えていく所存です。

現在、農林部会などの党内議論に積極的に参加しています。やはり農業政策は、農業者のためにあるものですから、議論を通じて現場の声を知ってもらい、政策を作っていくというプロセスの重要性を再認識しています。さまざまなお声を是非お聞かせください。



▶自民党農林部会合同会議で発言

## 全国・県農政連推薦

### 参議院議員山田としおの

#### 農政問題に斬り込む

#### 秋の諸課題に全力を挙げます

内閣改造は多くの大臣が留任となりましたが、困難な経済環境や国際情勢からして、間違いのないようにする意味で安定内閣と言えます。山本新大臣には、持ち前の明るさで、今硬直している農水省を談論風発の、かつての農水省に変えていただきたいと思います。

私自身は、内閣改造を控え、「総理」に関する著作を読破してみました。石原慎太郎さんが田中角栄さんについて書いた「天才」、佐高信さんが松村謙三さんと河野謙三さんについて書いた「正言は反のごとし」、日本テレビ解説委員の青山和弘さんの「安倍さんとホソネで話した700時間」、TBS記者だった山口敬之さんの「総理」、山崎拓さんが小泉純一郎さんと加藤紘一さんとの交流を詳細に綴った「YKK秘録」等を読みました。

結局、政府の役職には縁がなかったわけですが、8月の臨時国会では、参議院農林水産委員長に再任されました。9月26日に召集される臨時国会までの暫定かもしれないのですが、お祝いのお電話等を頂戴し、皆様感謝申し上げます。

この秋は、TPP対策、JA改革問題、30年産米以降の生産調整問題、生乳の指定団体制度問題等々の課題

が引き続きあります。党の都市農業振興に関する小委員会の委員長としても、年末の税制対策の議論で大きな課題を抱えますし、場合によれば税制に関連して新たな法律が必要になることも考えられます。これらの課題に全力を挙げるべく、党での活動に邁進する所存です。

なお、国会開会式の早朝に、党の農林幹部会があり、私は、二つのことを注文しました。

一つは、今回の参議院選挙における東北と甲信越の各選挙区における敗北について分析が必要で、この秋にはその対策をきちんと行うこと。

二つは、JA改革、とりわけ生産資材価格問題で農協と全農への指摘が相次いで報道されていますが、農協は地域の協同組合組織として長い歴史と組合員農家の地域的・社会的組織として育成されてきた経緯があることなどをしっかりと踏まえ、自主改革を長い目で見る姿勢が必要であること等を発言しました。他の幹部からは、「これだけの議論がある中では長い目で見る余裕はないのではないのか」「改革に向けた前向きな姿勢が示されるべきだ」「山田さんとはよく相談して進めます」等の発言が相次ぎました。

ともかく、容易でありません。しっかり頑張ります。



▲「8月4日 JAかみまき青訪  
壮年部益城支部の皆さんが来  
されました」